

火事現場で高齢女性保護

湯沢翔北高2年 高橋さん



湯沢市の湯沢翔北高校に通う高橋愛子さん（2年）が3月下旬、市内で発生した火事の現場に偶然出くわし、火元の高齢女性を安全な場所へと誘導、保護した。湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部から感謝状の贈呈を受け、「火事だと分かり、とっさに行動した」と振り返った。

消防によると、火事は3月24日午後5時40分ごろ、同市下関字榎木の物置小屋から出火、1棟を全焼した。高橋さんは当時、その周

勇気ある行動、消防が感謝状

辺をジョギング中にたまたま通りかかった。火が上がっているように見えたため「火事かもしれない」と思い、急いで近づいた。

現場では小屋が燃えており、その近くには火元の女性がいた。すぐに離れるように声をかけ、安全な場所に誘導。隣家の住人に通報を依頼し、女性と一緒に消防が到着するのを待ったという。

現場は山のすぐ近くだったといい、高橋さんは「燃え広がらなくて良かった」と話した。4月9日に湯沢翔北高で行われた感謝状の贈呈式では、小野消防長から感謝状が手渡され、「ありがとうございます」と笑顔で受け取った。

小野消防長は「高校生が勇気を持って行動し、被害の軽減につながったことは本当に素晴らしいことだ。大変感謝している」と述べた。

（加藤慶一郎）

小野消防長から感謝状を受け取る高橋さん（左）